

# (ESG) 日本遺産を活用した文化観光の推進による 文化財の保存・継承



日本遺産 究極の雪国 とおかまち  
スノウリッチ・ストーリーズ

【日本遺産活用推進事業】

ESG活動の促進

Environment (環境) / Social (社会) / Governance (企業統治)

E : 生物多様性の保全

S : フードロス

S : 地方創生

S : 環境保護

S : 移住促進

## 背景

- ◆ 十日町市は世界で最も雪が降ると言われる豪雪地（人口5万人規模以上の地域）
- ◆ 市内の有形・無形の文化財（指定・未指定）は、縄文時代から続く、豪雪や自然と共生する生活によって育まれた生活文化に関連するものが多い
- ◆ 国宝「火焰型土器」などの博物館に収蔵されている文化財だけでなく、棚田に代表される里山やフードロスの少ない食文化など、人と自然の共生や、長い冬を乗り切るために生まれたサステイナブルなものが多い
- ◆ 豪雪と共に暮らし続けてきた十日町市の歴史文化をまとめたストーリーは、地域の歴史的の魅力や特色を通じて日本の文化・伝統を語る「日本遺産」に認定された

## 課題

- ◆ 十日町市内の文化財（指定・未指定、有形・無形）は、縄文時代から続く、豪雪や自然との共生により育まれてきた生活文化に関連するものが多く、社会環境や生活環境の変化の中で滅失していくものが後を絶たない
- ◆ 建造物や屋外にある有形の文化財は、豪雪の中での維持管理となるため、活用されなくなると維持管理（保存）が極めて困難となる

## 目的

- ◆ 地域の歴史的の魅力や特色を通じて日本の文化・伝統を語る「日本遺産」に認定された2つのストーリーを活用した文化観光を推進することで、市内の有形・無形の文化財の新たな「活用の機会」を生み出し、滅失を防ぐ
- ◆ 日本遺産を活用した文化観光の推進による地域経済の活性化を、文化財の保存・継承に繋げる好循環を生み出す



棚田は維持管理が困難だが生物多様性を守るために重要な役割を果たしている



流通の発展等により長い冬を乗り切るためのフードロスの少ない食文化も失われつつある

## 事業内容

- ◆ 「日本遺産」に認定された縄文から続く豪雪地の歴史文化のストーリーを柱に地域の有形・無形の文化財（指定・未指定）を活用し、地域の文化に理解を深めることを目的とした文化観光を推進し、文化財の新たな「活用の機会」を生み出すことで滅失を防ぐ
- ◆ 日本遺産を活用した文化観光の推進による地域経済の活性化を、文化財の保存・継承に繋げる好循環を生み出す



農舎を棚田の農業を紹介する施設として改修

## 寄附金の活用方法

- ◆ 文化観光施設の魅力・機能・利便性向上
- ◆ 移動の利便性向上
- ◆ 誘客促進
- ◆ 体験コンテンツ・旅行商品開発
- ◆ 普及啓発
- ◆ 文化財の保存継承

## 企業様に期待すること

- ◆ 企業版ふるさと納税によるご支援
- ◆ 日本遺産認定ストーリーを柱とした文化観光を推進するための事業のスポンサーになっていただきたい。

## 企業様のメリット

1. SDGs・社会貢献企業としてのPR（**企業イメージの向上**）
2. 企業の「**ESGスコア**」の獲得（見込み）
3. 十日町市公式ホームページでのご紹介
4. 市長からの感謝状（郵送）
5. 企業版ふるさと納税を活用した事業で、**税負担が軽減**
6. ESG活動レポートを交付

## 最終目標

「**選**ばれて **住み継**がれるまち とおかまち」の**実現**を目指します

### 担当課・連絡先

新潟県十日町市 産業観光部 文化観光課 文化観光推進係

◆ Tel : 025-755-5133 (係直通) ◆ FAX : 025-757-2285

◆ mail : t-bunka-kanko@city.tokamachi.lg.jp

